

STEP2 聞いてみよう!

# 「私達、こんな職場で頑張っています!」

性別にとらわれず、“自分らしく”働いている 2人の男女にインタビュー。



## 電車運転士 中原美樹さん (鹿児島市交通局/勤続年数:9年)



「お客様からの叱咤激励で日々、成長させてもらっています」

### 肩肘張らずに飛び込んだ電車運転士の職場

「特別に電車が好きってわけではなかったんですけどね」と、屈託のない笑顔で話し始めた中原さん。電車運転士募集の求人を見つけた時から、特に“男性の職場”という意識は少なかったらしい。現在、鹿児島市交通局で働く運転士81名のうち、女性は研修生も含めて計5名。「むしろ、女性が少ないから、皆さん優しくして下さるんですよ」。職場の雰囲気の良さは、インタビューに同席してくれた上司の堀脇さんとの会話からも伺える。

### 女性だからこそ感じる喜び、そして葛藤

では、乗車中はどうか。「やはり、女性の運転士は珍しいので、お客様の目は気になりますよね」。電車に乗ってしまえば男性でも女性でも一人の運転士。しかし、中原さん自身、“女性だから”と意識してしまうことはあるらしい。車内アナウンスの丁寧な話し方や、空調への気遣いなど、女性ならではの気配りに乗客から感謝され、嬉しかったこともあるが、逆に、乗客から「ちんたら走りやがって」など、厳しい言葉を浴びせられたり、料金を荒く入れられてたりすると、“男性の運転士なら、こんなことはなかったんだろうな”と落ち込むこともあるんだとか。

「女性だからこそ、男性以上のスキルが必要だと思っています」と中原さん。何気なく飛び込んだ電車運転士の仕事にやりがいを見出し、自らの技術の向上を目指す中原さんは、一人の電車運転士としての誇りと責任を感じながら、日々、安全運転に取り組んでいる。

### ～上司から～ 電車事業課運輸係長 堀脇義博さん

鹿児島市交通局で女性の採用を始めたのは平成7年からです。女性がいることで職場の雰囲気が和み、活気も生まれています。今後の課題は、女性職員の育児についてです。今はまだ子供を持つ女性運転士はいませんが、今後は長く働けるよう勤務等について検討していかなければならないと思っています。



## 保育士 福富智章さん (下伊敷保育園/勤続年数:7年)



「子供たちから元気をもらい、仲間から気遣いの大切さを学ぶ毎日です」

### 体操のお兄さんに憧れて!? 現実を見極め、動き出す勇氣

笑顔が優しくて快活! 福富さんの第一印象は、まさに体操のお兄さん。元々、子供が好きだった福富さんは、大学進学時、鹿児島国際大学に児童学科が新設されることを知り、「男性でも保育士になれるんだ」と嬉しかったらしい。“好きなことを仕事にできる”。その想いは、“保育士は女性が多い職場”という意識を飛び越え、真っ直ぐに突き進むことに。「今でも自分が男性だから…と考えることは特にないです。最終的にやらないといけない仕事は、男性でも女性でも一緒だと思っています」と話す福富さんは、家では3歳の女の子のパパ。園児たちに向けての温かい眼差しは、まるで我が子に向けてのようだ。

### 寄せられる期待 男性保育士ならではの役割

子供たちは毎日元気いっぱい。福富さんは、そんな子供たちと一緒にたくさん体を動かして遊ぶことを大事にしている。「帰宅の遅いお父さん代わり…という訳ではないんですが、体をいっぱい動かして遊ぶことは、男性保育士だからこそ役割なのかなと思っています。特に男の子の親御さんからは、「ウチの子は体力が有り余ってるから丁度いい(笑)」と言って頂いています」。

課せられる仕事は男女一緒。しかし、その中でも役割は存在する。その役割や寄せられる期待も、福富さんの“仕事へのやりがい”の一つになっている。

### ～上司から～ 園長 松ノ下みゆき先生

男性の保育士がいることで、子供たちにも良い刺激になっていますし、職場としても活気がありますね。福富先生自身も、女性の保育士と一緒に楽しく頑張っています。先日園児が発表会で着るチャイナドレスを作らなければならなかったのですが、「裁縫も好きなんです」と、試行錯誤しながらも丁寧に仕上げてくださいました。保護者の方からもとても褒めて頂いたので、彼も頑張った甲斐があったと思います。



## - Column -

### 男性も女性も「働きやすい職場」って?

私たち市民一人ひとりが自分らしく働くことができる職場とは、どんな環境なのでしょう? 市民の意見をリサーチした結果、様々な課題が挙げられました

育休復帰後も無理なく仕事を引き継げる体制が整っている職場 (20代/女性)

男女差別ではなく、男性でないと出来ない仕事、女性でないと出来ない仕事を会社全体で理解し、男女の人権をしっかり守ってくれる職場 (50代/男性)

家庭環境に合わせて働く時間帯を選べる職場 (20代/男性)

男女共に育児休暇が取りやすい職場 (30代/男性)

女性がすることが多い事務的な仕事に対しては給料や待遇面できちんと評価してくれる職場 (20代/女性)

「男女の均等な雇用の機会と待遇」女性が結婚・出産後も長期的に就業できる雇用体制を整えましょう

「ワーク・ライフ・バランスを考慮した人材活用」男性の育児参加・地域参加を積極的に進めましょう

「性別役割分担意識からの脱却」“補助的な仕事は女性”という思い込みをやめましょう

「女性が能力を発揮し、キャリアを形成できるための支援と教育」男女問わず、能力に応じてキャリアを積める社内システムを考えましょう

自分らしく輝ける職場